

教育委員会だより

第 81 号 令和 5 年 1 月 16 日

編集発行 山北町教育委員会こども教育課

〒258-0195 山北町山北 1301-4

TEL 0465-75-3648

授業参観を通して学び合う園・小・中の教職員～0歳から15歳までの一貫教育・保育の推進に向かって～

今年度から始まった山北町「0歳から15歳までの一貫教育・保育」実践・推進の場は、園・小・中の教職員で構成された山北町教育研究会です。

11月22日(火)、川村小学校を会場に全員参加の公開授業研究会が3年ぶりに開催されました。一貫教育・保育基本方針策定により、異校種間を貫く柱が「くっきり」と見えているのが、今までとの大きな違いです。参観の視点を示した「山北スタンダードカリキュラム」を手に新たな第1歩を踏み出した、研究会の様子を紹介します。



会場となった川村小学校では、全学級が授業を公開しました。どの教室も創意工夫された授業の中で、子ども同士が安心して伸び伸びと自分の意見や考え、感想を伝えあい、学びを深めている姿が見られました。

就学前の教育を担う幼稚園・保育園・こども園の先生方や進学先の中学校先生方にとって、小学1年生から6年生、特別支援学級の子どものための授業の様子、取り組みを一緒に参観できた意義は、小学生や小学校教育に対する理解を得られたことにとどまりません。授業参観後に行われた各学年・特別支援教育の分科会での協議や事後のアンケートから、自分たちが関わっている子どもたちへの指導や支援等の在り方について、0歳から15歳までの育ちを視点に見直す機会にもつながったことが伝わってきます。

- ▶ 授業を参観し、子どもの様子や先生の関わり方などがとても参考になった。また、園や小学校の先生方の話を聞き、中学校でやるべきことや工夫すべき課題のようなものが見えてきた。
- ▶ 子どもたちの学びの姿を共有し、話し合う場や時間があることの大切さやよさを強く感じた。異校種の先生の話を知ること、また園での教育・保育の楽しさを感じる事ができた。
- ▶ 山北スタンダードカリキュラムという具体的なものができ、異校種間交流の機会も増えて、情報交換ができるようになったことが成果とを感じる。

まだまだ新型コロナウイルス感染症予防のために難しいことも多いですが、園・小・中教職員同士の「互いの顔が見える関係づくり」が、一貫教育・保育の推進力になることを改めて実感した全員参加研究会でした。

学び方の積み重ねを大切にした授業



「子ども」や「非認知能力の育成」をキーワードにした分科会での意見交換



駅伝・ロードレース大会の季節が到来しました

「駅伝」といえば箱根駅伝が有名ですが、皆さんは今年の1月から2月にかけて山北町で駅伝大会が数多く開催されるのをご存じですか？選手がチームのために一生懸命走り、一つの襷を繋ぐ姿はとても感動します。

山北町内や丹沢湖周回コースなどを走路にして開催される大会には、山北町民代表として疾走する選手もいます。寒さも吹き飛ばすような熱き闘いを繰り広げる選手たちへ、応援をお願いします。



昨年度の「川本杯争奪チームレース」スタートの様子

- ① 1月15日(日) 第74回川本杯争奪チームレース大会(山北町内一周)
- ② 1月29日(日) 第77回足柄上地区一周駅伝競走大会(南足柄市・足柄上郡一周)
- ③ 2月5日(日) 第76回神奈川県実業団対抗駅伝競走大会(丹沢湖周辺コース)
第34回神奈川県実業団女子ロードレース大会(丹沢湖周辺コース)
第30回神奈川県実業団男子ロードレース大会(丹沢湖周辺コース)
- ④ 2月12日(日) 第77回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会(丹沢湖周回コース)

※すでに終了している大会は①です。今後予定されている大会も、新型コロナウイルス感染症感染拡大によって中止となる場合があります。

<問い合わせ 生涯学習課(電話:75-3649)>

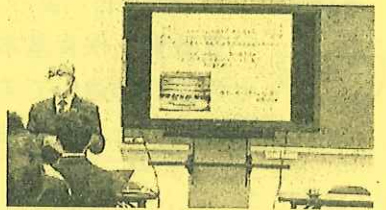
11月14日（月）、山北中学校で校内研究全体会が開催されました。公開された授業は1年生の音楽科で、ドイツ語による歌曲の「魔王」（ゲーテの詩にシューベルトが作曲）を題材にした鑑賞活動でした。

授業では、曲を聴いて感じたことやその感じ方の根拠についてグループで交流・共有する活動を行いました。その様子から、生徒たち一人ひとりが小学校の授業をとおして培ってきた言語活動を、さらに深めている姿が見られました。また、タブレットを上手に使いながら音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる素地を磨いていました。

全体会の指導助言の中で、講師の元帝京大学教職員大学院教授 矢野英明先生から、「ICT機器活用の意欲的な取り組み」や「詩の内容と曲想を感じながら味わっていくことができる授業づくり」に成果が見られたとのお言葉をいただきました。



曲から感じ取ったイメージを自分の言葉で伝える



講師の矢野先生から指導助言をいただく

第2回県立山北高等学校「地域との協働による報告会」～伝えよう山北町に。私たちの気づきと思い～

12月14日（水）、山北高等学校3年生が探究活動で取り組んだ「地域・プロジェクト」の学習成果を町に還元する「報告会」を開催しました。町内外から参加された多くの方々が、第1部の高校生の提言や第2部の高校生・高校教員・地域住民・町職員による座談会での話に熱心に耳を傾けられ、山北高校の取り組みと生徒の若い力・柔らかな発想に大きな拍手を送りました。

また、今年度は、高校の「探究活動」につながる「総合的な学習の時間」等で、「私たちの町『山北』を知る」をテーマに地域学習を行っている山北中学校1年生も参加しました。

◆高校生がすごいということを学びました。◆あと5年であそこまで喋れるか心配。◆山北町にもいろいろな魅力があり、いろいろな改善点があることを知ることができました。◆自分も町をよりよくすることができるかもしれないと思いました。そのためには自分一人ですぐにかしようとせず、周りの友達に協力を求めたりネットで調べたりするだけでなく、実際に町に出て町の人々の声を聞くことも大切だということ学びました。◆伝える力だけでなく伝わる力も大切だということ学びました。◆自分の出身地でなくてもすごく調べ尽くしていて、そういう姿勢が大事なんだなと思いました。

事後に書いた中学生の感想からは、高校生が町の活性化の方法を真摯に考え提案してくれた内容や、見せてくれた伝え方、座談会で自分の思いや考えを堂々と話す姿から、自分の中に生かしていきたい多くのことを受け取ったことがわかります。町では、町内すべての園・小・中と高校の交流の機会を、今後も大切にしていきたいと思ひます。

＜第1部＞山北高校3年生4グループの報告の様子



①「山北町の観光業を盛り上げる」ためのデジタルスタンプラリーの利用を提案

②「住みやすい山北町」に向けてグランピングや廃校ホテルの建設、空き家バンクの活用を提案



③自作した「山北町駅周辺食べ歩きマップ」を紹介し、多くの人の目に触れる方法を提案



④山北町の高齢化や免許返納推奨から「移動販売車を導入しよう」をテーマに運用方法を提案

＜第2部＞ 高校生・高校教員・地域住民・町職員による座談会



山北高校の取り組みを、高校生・高校教員・地域住民・町職員それぞれの立場から振り返る中で、司会者や地域の方からの問いかけに答える高校生

教育委員会の活動事項

令和4年

○第11回（11月28日）

（第11回～第12回・協議会）

- ・教育長報告
- ・山北町育英奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について
- ・山北町立生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

○協議会（11月28日）

- ・国指定重要無形民俗文化財「山北のお峰入り」ユネスコ無形文化遺産登録に係る事業について
- ・令和5年度山北町二十歳（はたち）を祝う会について

○第12回（12月21日）

・教育長報告

- ・山北町立学校教職員服務規程の一部を改正する規程の制定について
- ・山北町特別支援教育就学奨励費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

○協議会（12月21日）

- ・第44回丹沢湖マラソン大会結果について
- ・令和4年度生涯学習センターフェスティバルについて
- ・「山北のお峰入り」ユネスコ無形文化遺産登録について
- ・第77回足柄上地区一周駅伝競走大会について

